

令和2年度事業報告書

I. 人材育成事業

今年度は、計画していたスペースキャンプ事業のうち、GoToトラベルキャンペーン適用時期に、筑波スペースキャンプを実施する以外は新型コロナウイルス感染拡大のためすべて中止とし、オンラインで行う事業を試行的にいくつか実施しました。新型コロナウイルス感染の拡大情勢から、中止になった事業、単発で実施した事業、予防対策を講じながら例年どおり実施できた事業について、以下のとおりご報告いたします。

1. スペースキャンプ事業
2. 情報発信(宇宙教育テレビ、宇宙情報誌等)事業
3. webによる普及啓発事業
4. 将来の特定の活動「2020年宇宙の旅」事業(特定費用準備資金)
5. 理事会及び評議員会の開催

1. スペースキャンプ事業

(1) 種子島スペースキャンプ

夏休みに予定していた本キャンプは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止しました。

(2) 筑波スペースキャンプ

毎年、筑波宇宙センターを拠点に体験プログラムを実施してきましたが、今年度は、ホテルの部屋を閉鎖環境に見立て、各部屋からパソコンを使い、講義や地上管制官・月ゲートウェイ・ルナクルーザーに分かれて様々なミッションをグループで挑戦してもらいました。

オンラインの利点を活かし体験してもらうことで、実際 JAXA の宇宙飛行士や管制官は日々このような訓練を行っていることやコミュニケーション力の大切さを学びました。

また、オンラインでモデルロケットの作り方を学び、各自の部屋で組立てたものを打上げ、4 級ライセンスを取得しました。

日 程：2020年12月26日(土)～28日(月) 2泊3日

場 所：アーバンホテル筑波

主 催：公益財団法人日本宇宙少年団

対 象：YAC団員及び一般

参 加：小学3年生～中学3年生と保護者 (計)18名

講 師：柳川孝二(JAXAOB/YAC 相談役)、上垣内茂樹(JAXAOB/YAC 理事)

内山崇(JAXA)

行 程：

スケジュール	主な内容
1 日目	ホテル集合 Zoom でオリエンテーションとモデルロケット工作 夕食後、zoom でチームビルディング
2 日目	【午前プログラム】 ・地上管制官「月軌道中継ゲートウェイ」「月(宇宙飛行士)」の役割に分かれて各部屋からオンライン講義とミッションに挑戦！ ・宇宙船運用体験「HTV GO」シミュレーション操作 【午後プログラム】 モデルロケット打上げ(筑波北部緑地) 夕食後、体験発表・修了式

3日目	【午前プログラム】 筑波宇宙センターへ各自移動 筑波宇宙センタースペースドーム見学及びお土産購入 筑波宇宙センター(解散) TX つくば駅(解散)
-----	--

(3) アメリカスペースキャンプ

アメリカ全土で新型コロナウイルス感染が拡大している状況から、今年度計画を中止しました。

(4) オンラインキャンプ

ノースロップ・グラマン・ジャパン主催、アメリカ・ハンツビルの「Alabama Space Camp」に、2019年から公立中学校の生徒と先生を派遣する協力を行っており、アメリカへ出発する前日に、筑波宇宙センターでチームワークの大切さを学び自信を身につけることを目的として、スペースキャンプを実施してきました。

今年度は、アメリカ全土で新型コロナウイルス感染が拡大している状況から、Alabama Space Campの派遣が中止となったため、派遣予定の種子島、広島の中学生を対象に、英語を交えたオンラインでキャンプを行いました。

日 程: 2020年8月24日(月)～26日(水) 3日間

方 法: zoom

参 加: 鹿児島県南種子町立南種子中学校 2名 (3日間)

広島県呉市立広南中学校 3名 (最終日のみ)

講 師: 柳川孝二(JAXA/OB/YAC 相談役)、上垣内茂樹(JAXA/OB/YAC 理事)

内 容:

(1) 生徒より自己紹介等(英語プレゼン)

(2) ノースロップ・グラマン・ジャパン挨拶、生徒プレゼンの講評など

(3) さまざまな宇宙活動について(講師 上垣内茂樹)

テーマ「宇宙に行く、地球をみる、宇宙をみる」(講師 柳川孝二)

宇宙とはどんなところ? 時間や重力、宇宙空間について考えてみよう!

2. 情報発信(宇宙教育テレビ、宇宙情報誌等)事業

(1) 「宇宙教育テレビ」放送

これまで JAXA 宇宙教育センターと協力し、宇宙関連トピックや宇宙教育イベントに合わせたインターネット情報番組として配信してきましたが、今年度は取り上げるテーマがなく実施に至りませんでした。

(2) 宇宙情報誌「宇宙のとびら」発送

宇宙に関わる様々な分野の方の活動や宇宙への思い、宇宙及び科学に関する最新のニュースや新しい科学の発見などを誌面で紹介し、子どもたちの持つ冒険心・匠の心・科学する心を育むことを目的として、宇宙教育情報誌の編集協力等を行い、YAC 団員及び YAC 関係者へ発送しました。

【発行】

6月: No.052「H3 ロケット新技術への挑戦」2020年夏号

9月: No.053「家でもできる宇宙飛行士の訓練!」2020年秋号

12月: No.054「はやぶさ2が無事地球に帰還」「野口宇宙飛行士の新たな挑戦!」2020年冬号

3月: No.055「『はやぶさ2』カプセル回収ミッション大成功」2021年春号

(3) YAC通信の発行

YAC 団員向けに、これから予定するイベントの告知や終了したイベントの報告、コラム等を「YAC 通信」として年4回(6月、9月、12月、3月)発行し、YAC 団員及び YAC 関係者へ発送しました。

(4) 付録教材

子ども達の宇宙への興味・関心を持たせる工夫を取り入れた簡易教材を、宇宙情報誌「宇宙のとびら」に同封し YAC 団員及び関係者へ発送しました。6月のコンテスト応募者にはJAXA O B エンジニアの財団理事に講評やコメントと参加の証となるオリジナル賞状を送付しました。

6月：H3ロケット応援企画 YAC7ならベロケットランプ

9月：きみの人工衛星コンテスト2020
衛星フェアリングペーパークラフト

12月：夢チャレンジ2020→2021
そらとび手帳2021

3月：「一家に1枚」ポスター「南極」地球の未来を映す窓（文部科学省提供）

3. Webによる普及啓発事業

(1) 分団等連携団体との協力の促進

① 分団等との連携協力

分団及び団員、一般からの定常的な問合せや分団からの相談に応じてアドバイスをを行いました。

② 第10回衛星データ利用コンテスト

全国の小中学生・高校生に、人工衛星のデータを利用し自ら課題を見つけ調査・分析に取り組む機会を提供し、宇宙を身近に感じるとともに地球・生命の大切さや宇宙開発の意義などを学んでもらうことを目的として実施しました。webサイトでは過去に取組んだ成果や実際に衛星データを使用する体験ツールを公開、提供しています。

期 間：2020年9月15日～2021年1月31日

応募資格：小・中学校、高等学校に在籍する児童・生徒のグループ及び個人

③ JAXA研究公募(RA-4):公募型共同研究「ALOS-2データ利用」

衛星データの能動的処理を活用した教育方法の開発をテーマとして、平成25年5月、JAXA共同研究の承諾を受け、平成26年度より全国のYAC団員及び一般の子どもを対象にYAC分団共通プログラム「だいち2号に写ろう！」を企画し実施しています。

子供たち自身がコーナー反射鏡(CR)などの反射体を製作し、ALOS-2の観測画像に写り込んだ後、その画像を独自ソフトウェアで分析し、自分たちで製作した反射体を観測画像の中から発見するという宇宙ホンモノ体験を行います。本年度も「第7回反射体を設置してだいち2号に写ろう」を実施して、YAC分団などへ当日の活動支援や反射体の製作方法や設置方法など事前のアドバイスなどをしました。これらの「だいち2号に写ろう！」の情報は、日本宇宙少年団ホームページに掲載しています。

④ 分団長会議(連携団体長会議)

毎年、全国から日本宇宙少年団の分団長が集う場として分団長会議を設け、財団との連携協力を図ることを目的に、各地域の分団活動が活性化するための方策を検討することや活動組織相互の情報交換等が行われました。本年度はオンラインで実施しました。1日目に関東地区ブロック藤沢分団長が議長となり、財団の運営状況や分団・団員の推移等について事務局より報告と活動委員会より各部会の活動報告及び情報提供がありました。また、1日目の最後には分団長会議情報交換会「分団活動とCOVID-19」というテーマでYAC活動の共通課題について議論を行い、出席分団長より活発な意見をいただきました。

期 間：令和2年11月28日(土)

場 所：オンライン会議システム「Zoom」での実施

参加分団数：1地方本部1支部31分団

⑤ 活動委員会

分団等連携団体との協力の促進を図るために、活動委員会として、「第10回衛星データ利用コンテスト」「JAXA研究公募(RA-4):公募型共同研究「ALOS-2データ利用」」「分団長会議」「宇宙教育指導

者セミナーの開催」「YAC 分団の活動実態調査」「2020年宇宙の旅・YAC 全国ワークショップ2020」「中高生向け宇宙基礎講座」「講座等のインターネット配信」「YAC かわら版」の企画・推進を行いました。

(2)宇宙教育指導者セミナーの開催

社会教育団体活動の指導者育成を目的とするセミナー(高校生を除く18才以上を対象)を、JAXA宇宙教育センターと(公財)日本宇宙少年団が主催となり、開催地域と連携協力しながら、オンラインで以下のとおり実施しました。

- ① 宇宙教育オンラインセミナー(2020年 6月28日/40名/大分高専より)
- ② 宇宙教育オンラインスキルアップセミナー(2020年10月11日/61名/大分高専より)
- ③ 宇宙教育オンラインセミナー(2020年11月22日/46名/JAXA筑波宇宙センターより)
- ④ 宇宙教育オンラインセミナー(2020年12月12日/79名/国立天文台(水沢)より)
- ⑤ 宇宙教育オンラインセミナー(2021年 1月17日/86名/呉大和ミュージアムより)
- ⑥ 宇宙教育オンラインセミナー(2021年 1月31日/88名/佐賀県東明館中学校・高等学校より)
- ⑦ 宇宙教育オンラインセミナー(2021年 2月 7日/77名/苫小牧市科学センターより)
- ⑧ 宇宙教育オンラインセミナー(2021年 2月11日/84名/YAC東京事務所より)
- ⑨ 宇宙教育オンライン特設セミナー(2021年3月7日/184名/YAC東京事務所より)

(3)講師派遣等

広く一般を対象に宇宙及び科学に関する知識の普及啓発、宇宙教育の促進を目的に、その他事業として、以下の事業及びイベントに講師派遣、監修等を行いました。

- ① (株)KADOKAWA
内容:「宇宙なんちゃら こてつくん」WEBまんが 監修
- ② さぬきこどもの国
宇宙研究ツアー&簡単工作 講師派遣
7月11日(土)、12日(日)

4. 将来の特定の活動「2020年宇宙の旅」事業(特定費用準備資金)

新型コロナウイルス感染の影響を受け、計画のうち、JAXA 大西卓也宇宙飛行士によるオンラインの講演会のみ実施しました。今年度で終了予定のところ、一部は次年度に繰越して実施する予定です。

【実施概要】

NASAをはじめとする国際協力の中で進めていこうとする JAXA の有人宇宙 技術、宇宙探査計画についての説明をしていただきながら、子どもたちにこれからの宇宙探査でいっぱい活躍できる“宇宙の仕事”があることを、大西宇宙飛行士 にお話いただきました。

講師 :JAXA宇宙飛行士 大西卓哉氏(JAXA 有人宇宙技術部門 宇宙飛行士運用技術ユニット 宇宙飛行士グループ)
実施日 :2020年 11月 29日(日)
プログラム :13:00~14:30 13:00~13:15 開会
13:15~14:15 大西卓哉宇宙飛行士講演
14:15~14:30 閉会
参加対象: 一般、YAC 団員、YAC 指導員

5. 理事会及び評議員会の開催

(1)理事会

令和2年度 第1回理事会

- 1.日 時 令和2年6月3日(水) 14:00～
- 2.開催形式 web会議システム「Zoom」による開催
- 3.審議事項
第1号議案 令和元年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)について
第2号議案 活動委員の推薦について
第3号議案 2020年度からのYAC活動委員会のミッション案

令和2年度 第2回理事会

- 1.日 付 令和2年7月6日(月) 16:30～
- 2.開催形式 web会議システム「Zoom」による開催
- 3.審議事項
第1号議案 理事長の選定の件
第2号議案 専務理事の選定の件

令和2年度 第3回理事会

- 1.日 時 令和2年11月25日(水) 16:30～
- 2.開催形式 web会議システム「Zoom」による開催
- 3.審議事項
第1号議案 「2020年宇宙の旅」事業及び予算の計画変更について
第2号議案 公益財団法人日本宇宙少年団「旅行業務取扱料金」について
第3号議案 公益財団法人日本宇宙少年団相談役について

令和2年度 第4回理事会

- 1.日 時 令和3年3月17日(水) 15:00～
- 2.開催形式 web会議システム「Zoom」による開催
- 3.審議事項
第1号議案 令和3年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について
第2号議案 テレワーク規程(案)について
第3号議案 2021年度からのYAC活動委員会のミッション案について

(2)評議員会

令和2年度 定時評議員会(書面決議)

- 1.日時
令和2年6月10日提案、令和2年6月22日評議員会の決議があったものとみなされた日
- 2.審議事項
第1号議案 令和元年度決算書類(計算書類・財産目録の承認)承認の件
第2号議案 評議員10名選任の件
第3号議案 理事10名選任の件
第4号議案 監事2名選任の件

以上